

2018年度総会報告

東大和障害福祉ネットワークの第 13 回総会&学習会が、6 月 19 日（火）13 時半より東大和市中央公民館視聴覚室にて行われました。ネットワークの役員含め 34 名、14 の構成団体、羽村特別支援学校、民生委員の方など多くの方にご参加いただきました。

第一部の総会では、2017 年度の活動報告、決算報告、会計監査に続き、2018 年度の予算案、活動計画案など、皆様の承認を得ることが出来ました。役員紹介では、設立当初からネットワークの役員として精力的に活動して下さった田村さん、2 年間世話人として協力して下さった岩田さんが退任、フレンズモエの尾崎さん、パーチェの伊藤さん、お子さんが村山特別支援学校小学部に通っておられる本田さんが参加して下さることになり、新たな役員体制で 2018 年度がスタートしました。

第二部の学習会では、「東大和市障害者総合プラン」について、障害福祉課 小川課長に説明していただきました。これまで東大和市障害者計画、障害福祉計画があり、今年からは第一次障害児福祉計画も始まった事で、今年から名称が「東大和市障害者総合プラン」として障害児者の福祉計画が一本化されました。普段あまり目に触れる事のない福祉計画ですが、私たちの生活に大きく関わっているものです。プランのいたるところに、国が打ち出している共生社会の実現、共生社会の構築・・・共生の言葉があふれていますが、32 年度までの 3 年間に、東大和市として重点を置いて取り組もうとしている計画は見当たらないなと感じました。東大和市でも一昨年には障害者差別解消法も施行され、一連の法律は整いましたが、身近なところでは課題は多いと思います。これからは構成団体の皆さんと一緒に、誰もが住みやすい東大和市になるよう活動していきたいと思えます。



2018年度に向けて



皆様こんにちは。

平素は、東大和障害福祉ネットワークの活動に対してご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。ここに謝意を表します。

さて、本年は全国の各自治体において、第4次障害者計画、第5期障害福祉計画、第1期障害児福祉計画が始まる年です。東大和市においては、これら3つの計画を総称して「東大和市障害者総合プラン」として取り組むことになりました。また、東京都においては、都条例「障害者への理解促進及び差別解消の推進に関する条例」が10月に施行されます。この条例の特徴は、民間事業者に対しても「合理的配慮」を義務化したことです。さらに、障害者への情報保障「マラケシュ条約」の批准や障害者が出版物を利用しやすくするための法「読書バリアフリー法」の制定が予定されています。そして、障害福祉サービスと介護保険サービスの間に存在する65歳問題に対して、「65歳で障害福祉サービスの無償打ち切りは違法」とする岡山の浅田裁判勝利（2018.3.14）は、私たち障害者に希望を与えるものでした。

しかし一方で、内閣府が2017年8月に実施した「障害者差別解消法」の周知度調査では、法律の内容を知っている人が5.1%、法律ができたことは知っている人が16.8%、知らない人が77.2%となり、実に95%もの人が「障害者差別解消法」の内容を理解していないという結果が公表されています。私たち障害者にとってはまさに衝撃的な結果です。

また、「地域包括ケアシステム強化法」の施行により、本年より介護保険サービスと障害福祉サービスを同一の事業所で行う「共生型サービス」ができるようになりましたが、内容が不透明で、今後の動向には注意が必要です。

このように、私たち障害者を取り巻く環境は様々な形で変化しています。これらに対応していくためには、障害福祉関係者の結束力を強め、一致団結して取り組む必要がありますが、今期は以下の5項目を重点施策とします。

【基本姿勢】

- ① 障害福祉制度が適切に策定・運用・運営されているかを注視し、必要に応じて是正に取り組む。
(昨年度と同等)
 - ・ 障害者差別解消に関する検討・議論を開始する。(新規)
 - ・ 「東大和市バリアフリー実態調査」に関しては、当初トイレ調査から開始する予定でしたが、負担が大きいため、実施そのものを含め根本的に見直しをする。
- ② 行政や議員、地域自立支援協議会、社協などと協力し合い、是々非々を含めて障害福祉の向上に貢献していく。(昨年度と同等)

【ネットワークの活性化】

- ③ ネットワークの構成団体との連携を強化し、構成団体の現状や抱えている問題・課題、あるいは効果的な独自工夫の取り組みなどを共有し、構成団体の活動力の底上げを目指す。(昨年度と同等)
- ④ 様々な障害者や地域社会との相互理解を促進していくために、行事や催し物の実施、文化芸術アート作品の発信を通じて交流を深めていく。(昨年度と同等)
- ・ 障害者交流祭りの実施。7月18日に204人の参加を得て実施済み。
 - ・ 市民運動会や災害ボランティアセンター協議会の行事にも関わっていく。
 - ・ 障害者等の文化芸術アート作品（エッセイ、詩、イラスト、絵画、書道など）を募集し、発信する。
 - ・ 次年度実施予定のイベント（自主上映会など）の準備を進める。
- ⑤ 常に2～3年先を見通し、イベントの企画や施設・会場等の確保、そしてそれらを実行する財政の維持を図る。特に財政に関しては、次年度繰越金を毎年20万円以上とすることで、財政の健全化を図る。2020年度を達成目標とする。

障害者施策の向上や障害者の問題・課題の解消の歩みは、ゆるやかではありますが、確実に進んでいます。そして、共生社会の実現には心のバリアフリーが重要になります。このことは、私達にも粘り強い取り組みが必要である、ということを示唆しています。私は、当ネットワークの認知度向上を含めて、地道ですが諦めることなく着実に活動を進めていく所存ですので、今後もどうぞ宜しくお願いします。

『障害者に笑顔を』 これが私の願いです。

東大和障害福祉ネットワーク 代表 水谷 雅弘

10月1日施行！

「東京都障害者への理解促進及び差別解消の推進に関する条例」が施行されます！条例には相談・紛争解決の仕組みの整備や、民間事業者の合理的配慮提供の義務化が明記されており、東京都における障害者差別解消を推進させるきっかけになる事が期待されています。

学習会「始まる！介護保険と障害福祉の「共生型サービス」

2018年3月13日 中央公民館

きょうされん常任理事 小野浩氏を講師にお招きし、「共生型サービス」の内容と問題点をお話ししていただきました。障害福祉事業所が介護保険事業所の指定を受けることで、65歳を過ぎた利用者が引き続き同じ事業所を利用できるため、65歳問題が解消されるかの様に描かれていますが、問題点としては

- ①65歳を過ぎた利用者の行き先は、それまで同じ事業所であっても介護保険の指定を受けた共生型事業所なので、報酬や利用者負担等は介護保険の制度に移っている。よって本人が障害福祉か介護保険かを選択したくても、強制的に介護保険に移される恐れがある！
- ②障害福祉と介護保険の垣根を低くして現場レベルで両制度を繋げることで近い将来の一元化への布石の役割を果たす！
- ③営利本位で障害のある人の権利をかえりみない事業者の参入を制限する手立てが高じられていない！

などの事が問題提起されました。

また「共生型サービス」の考えでは、障害者自立支援法違憲訴訟団と国（厚労省）が結んだ「基本合意」（応益負担廃止）が曖昧にされる恐れもあります。

更には、介護人材不足を理由にした、「効率化」や「生産性の向上」を目指すのではなく、なぜ人材不足なのか？その背景を明確にし、専門職としての介護人材を確保・育成するための施策こそ必要では、と強く思います。

まだ、始まったばかりの制度なのですが、これから目に見える課題・問題点が浮き彫りになってくると思われますが、目を離さず皆で「共生型サービス」の行方に関心を持っていきましょう。



東大和障害福祉ネットワーク 障害者交流祭り 2018



2018年7月18日（水）中央公民館ホールにて「第2回障害者交流祭り」を開催しました。今回も多くのネットワーク構成団体の参加があり、約200人が一堂に会しました。

今年の内容は市内のグループによる演目披露でした。南街マジッククラブのマジックでは「お～」と歓声上がり、参加者の皆さんは不思議な世界に引き込まれていました。華やかな衣装を身にまとったラウナレアの皆さんのフラダンスは息が合っていて、とても素敵で、会場がハワイアンムードで一杯になりました。春風とウクレレスターズの演奏では、皆さんが手拍子を打ってノリノリで、サザエさんの歌は大合唱になりました。アンコールでは「ふるさと」の歌を参加者の方が舞台上がって歌い、盛り上がりました。

皆さまのおかげで楽しい交流祭りになりました。出演グループの皆さま、お手伝いをして下さいましたボランティアの皆さま、ありがとうございました。

今後も皆さんが集える楽しい行事を企画していきたいと思っておりますので、ご期待下さい！



新構成団体紹介

今年度から「一般社団法人かざまぐみ あかぐみ東大和」が参加してくれることになりました。
みなさん、よろしくお願いします。

放課後等テイサービスあかぐみ東大和

平成30年7月1日に東大和市中央に「放課後等テイサービスあかぐみ東大和」が開所いたしました。重症心身障害児のテイサービスです。(医療的ケアが必要な方の利用も可能です。ご相談ください。)

市内には、重症心身障害児のテイサービスがなかったので、たくさんの方に利用して頂ければと思います。安全・安心で楽しく過ごせる居場所作りを目指しており、毎月いろいろなイベントを計画しています。8月は猛暑で外出が難しいので施設内でスタッフ手作りの夏祭りを実施しました。わたあめ・かき氷・スイカ割り・射的などを楽しみました。9月は十五夜 10月はハロウィンなどを計画しています。これからはお散歩など外出もしていきたいと思います。

今後の活動を温かく見守っていただければ幸いです。

一般社団法人かざまぐみ
代表理事 風間 美奈

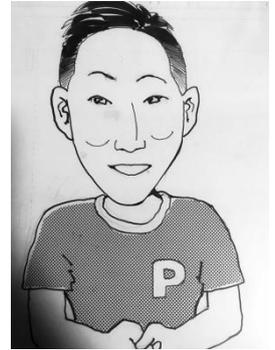


新役員挨拶

私は東大和市にあります、障がい福祉サービス事業所 PACE（パーチェ）で支援員を行っています、伊藤 和登志と申します。

何でも気楽に相談出来る、支援員を目指し日々活動しています。

気楽に楽しく安心して作業出来る環境作りを心掛けてこれからもがんばって行きます。



尾崎美佐子 グループホーム フレンズ・モエの世話人

女性 4 名の知的障害のある利用者で 30 歳代から 40 歳代の方々です。「地域で自分らしく暮らす」という漠然としたスローガンを掲げています。

制度の中ですので、利用者にとって、守るものであり、窮屈なものでもあります。

世話人は制度を把握していなければならない立場ですが、実に細かいです。利用者の希望する暮らしを実現出来るように奮闘しています。ネットワークの役員として、何が出来るのかな？と自問自答しながら参加しています。今は只、先輩のやる気に圧倒されています。多方面の方々が役員でいらっしゃいますので、学ぶことが多くワクワクしております。宜しくお願い致します。

書記を務めさせて頂くことになりました本田未奈と申します。娘は村山特別支援学校の小学部3年生です。相談支援で田淵さんにお世話になっているご縁で、ネットワークにお誘い頂きました。

障害を持つ幼児期～学齢期の子のお母さん達も、福祉に対して多くの要望・意見を持っています。でも、東大和市に声を届ける機会がほとんど無いのが現状です。

東大和市にお母さん達の切実な思いを届けたい、そして「すべての子どもを子育てしやすい街」「親亡き後も障害を持つ子どもが安心して暮らせる街」になってほしい・・・と1人の母として願っています。

ネットワークで障害福祉について勉強させていただき、その願いの実現に向けて私に出来る事を見つけてたいと思います。

皆様、ご指導の程よろしくお願い致します。

映画「やさしくなあに」上映会決定！

『やさしくなあに 「～奈緒ちゃんと家族の35年～」』

日時：2019年9月7日（土曜日）

会場：東大和市民会館ハミングホール小ホールにて

*上映時間、チケット等詳細については、追ってお知らせいたします。



1983年のクランクインから35年間、カメラは奈緒ちゃんとその家族を撮り続けた。8歳の少女だった奈緒ちゃんは43歳を迎え、今も発作を抑える薬を飲みながら、グループホームで暮らしている。お父さんは定年退職を迎え、弟は就職して家を出た。そして、お母さんは静かに人生を振り返る。家族それぞれの思いや悩み、葛藤……。家族とは？夫婦とは？やさしさとは？

ドキュメンタリー史上例のない35年の家族の記録。

「ケンカしちゃういけないよ。やさしくなあにって言わなくちゃ……」

ネットワーク会員 作品紹介



前



後

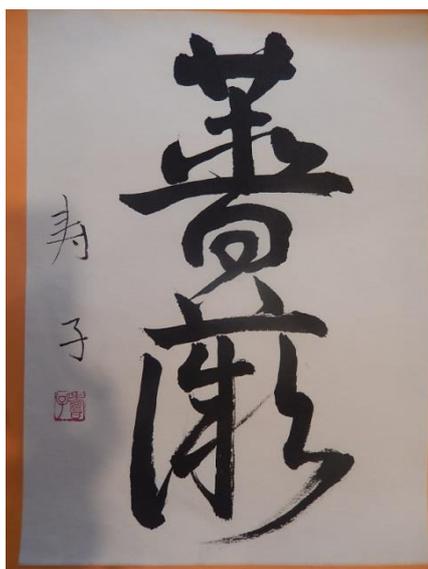


前身頃、後身頃は作ってあって、だんだん見えなくなり友達に完成させてもらった。今は出かけることが多く、編み物はやらなくなった。以前作った刺し子の暖簾が古くなってきたので、これから新しい暖簾を作ろうと思っているところ。セーターは赤でも無く、紫でもなく何とも言えない良い色合いでしょ？

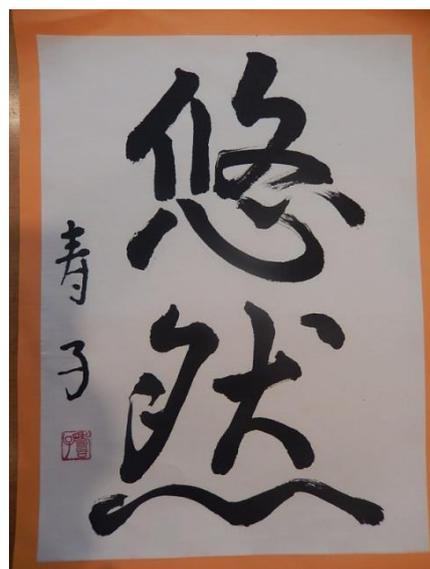
【山口百合子さん作】

私は視覚障害なので、うすぼんやりしか見えていません。書くときの気持ちはいつも字に入り込んでいる。書くのを止めてしまうと筆がどこかに行ってしまうので、一気に書いています。一心不乱です。

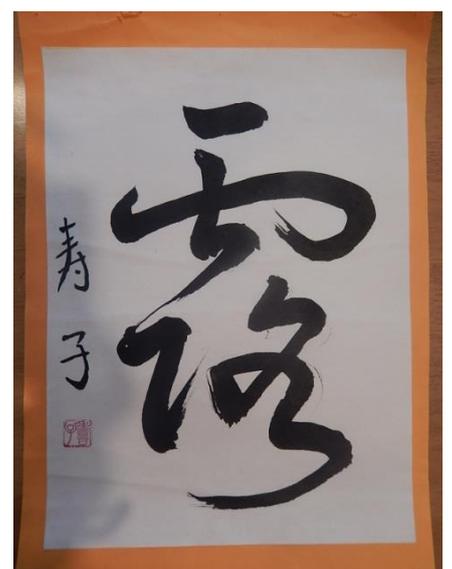
【宮野寿子さん作】



薔薇



悠然



露

障害福祉係の

お仕事&職員

を紹介します

障害福祉課障害福祉係では、身体障害児・者及び知的障害児・者の「ケースワーク業務」のほか、さまざまな業務を行っています。

ケースワークとは、障害のある方お一人おひとりに対して、個別の相談や支援を行うことです。6人（1人育休中）の担当で、市内の地区ごとに担当をしています。この6人と臨時職員を束ねているのが障害福祉係長です。

ケースワーク以外の業務は多岐にわたります。最も比重が大きいのが障害支援区分の認定調査とサービス支給決定。この他、自立支援協議会の運営、障害者差別解消法への対応、障害者虐待防止センター、補装具・日常生活用具、ガソリン・タクシー助成、マル障、手話通訳者派遣などなど。さらに総合福祉センター開設に伴い、センターに関する業務も加わり、やることはたくさんですが、係一丸となって業務に励んでおります。

障害福祉係

順不同。

名前の前の◆=男性、●=女性



	仕事・担当	なまえ	ひとことなど
◆	係長	梅木	最近、お酒を飲む時は、焼酎からワインという流れです。炭酸が飲めなくなってきました。
◆	ケースワーカー	熊谷	精一杯がんばりますので、よろしくお願いします。
●	ケースワーカー	内田	至らない点多々あると思いますが、みなさま、よろしくお願いします。
●	ケースワーカー	古川	何とか一年が経ちました。まだまだ勉強中です。よろしくお願いします。
◆	ケースワーカー	三田	7月から障害福祉課に配属されました。みなさま、よろしくお願いします。
◆	ケースワーカー	吉田	4月から障害福祉係に配属されました。
●	ケースワーカー	大竹	現在、育児休暇中です。
●	事務臨時職員	西	補装具・日常生活用具の担当です。
●	事務臨時職員	浅見	障害者手帳の担当です。
●	事務臨時職員	須藤	各種申請の処理などを担当しています。

お気軽にご相談ください

公開研修会 ゲームで学ぶ！障害のある方の介助



平成 29 年度全体会公開研修会として、「ゲームで学ぶ！障害のある方の介助」を平成 30 年 8 月 18 日（土曜日）に開催しました。

自立支援協議会委員の研修会は、地域で障害のある方が自立して暮らしていくときの課題を明らかにしたり、障害や障害のある方について市民の方に知っていただくことを目的に開催しています。今回は、特に介護者（ヘルパーや支援員）が不足している状況を踏まえて、まず第一歩として、ゲームなどを通して、障害のある方の介助について知っていただきたいとの思いから企画しました。

当日は、5つの障害（視覚、聴覚、肢体不自由、知的、精神）当事者の方や関係者がスタッフとなり、趣向を凝らしたゲームを用意しました。手さぐりゲームやジェスチャーゲーム、車椅子での障害物ゲームでは、それぞれの障害のたいへんさや障害当事者の工夫を学ぶことができました。また、ボッチャを通して知的障害の方と交流し、幻覚体験ミニシアターでは、精神障害の方の症状を体験し、ご本人たちからのお話をうかがうことができました。障害のある方、参加された市民の方たち、双方にとって貴重な体験の場となりました。（事務局）



「地域生活支援拠点等整備検討会議」がスタート！

今年 3 月に策定した「東大和市障害者総合プラン」で、平成 32 年度までに『地域生活支援拠点等』の整備をすることを目標として掲げました。

何だか長ったらしい名前ですが、国が指針により、各市町村で 1 か所以上整備することを求めています。障害者の高齢化・重度化や「親亡き後」という課題を見据えて、5つの機能（①相談 ②体験の機会・場 ③緊急時の受入れ・対応 ④専門性 ⑤地域の体制づくり）を強化するための拠点を整備することを目指します。

「地域生活支援拠点」といっても、新しい建物を作るのではなく、東大和市では、総合福祉センターは～とふると地域生活支援センターウエルカムの機能を強化しつつ、地域のさまざまな社会資源を活用して、「面的な整備」を目指しています。

ここまで書いてもなんのことやら、という感はありますが、障害のある方が地域で暮らし続けるためのネットワークを強固にすることを目指して、来年 3 月頃を目途に整備方針を検討します。

- 問合せ 会議の事務局（障害福祉課）042-563-2111 内線 1123
- 会議の日程等は、市公式ホームページをご覧ください。

2018年度 役員紹介

役職	氏名	所属
代表	水谷 雅弘	東大和市視覚障害者福祉協会
副代表	田淵 規子	NPO 法人 自立生活センター・東大和
	平松 美佐子	東大和市手をつなぐ親の会
	森田 由美子	社会福祉法人みんなの会 第二みんなの家
書記	尾又 昇司	NPO 法人 ゆうらんせん
	吉田 敏子	東大和市知的障害者相談員
	本田 未奈	村山特別支援学校保護者
会計	脇田 正子	個人
世話人	青木 博子	NPO 法人 食工房ぱる
	佐藤 英樹	NPO 法人 自立生活センター・東大和
	尾崎 美佐子	グループホーム フレンズモエ
	伊藤 和登志	障害福祉サービス事業所（PACE）
相談役	海老原 宏美	NPO 法人 自立生活センター・東大和
監査	小林 景子	個人

構成団体

1	NPO 法人アダージョ ライブリィ工房
2	NPO 法人おれんじはあと 精神障害者グループホームなんがい
3	NPO 法人 グループゆう
4	NPO 法人 食工房 ぱる
5	NPO 法人 自立生活センター・東大和
6	NPO 法人生活支援センター207 あとリエトントン
7	NPO 法人生活支援センター207 第2あとリエトントン
8	NPO 法人 東大和けやきの会 PACE
9	NPO 法人 ゆうらんせん
10	NPO 法人リング グランデ
11	社会福祉法人えいぶる かたつむりの会作業所
12	社会福祉法人恩賜財団東京都同胞援護会 グループホーム フレンズ・モエ
13	社会福祉法人 この指とまれ
14	社会福祉法人みんなの会 第一みんなの家
15	社会福祉法人みんなの会 第二みんなの家
16	社会福祉法人みんなの会 第三みんなの家
17	合同会社 ソエル
18	株式会社エルヴィエント 就労支援事業所 NOAH
19	東大和市視覚障害者ひとみサークル
20	東大和市視覚障害者福祉協会
21	東大和市手をつなぐ親の会
22	東大和市聴覚障害者協会
23	東大和市手話通訳者の会
24	手・指の会
25	(一社)かざまぐみ 放課後等デイサービスあかぐみ東大和 ケアサポートきいぐみ

構成団体、個人ともに募集しています。